

3つのNGO団体が国連日本政府代表部と  
2023年3月に共催した  
CSW67 サイド・イベントについて

JAWW主催CSW67報告会  
2023年5月22日

担当 国際婦人年連絡会 (紙谷雅子)



# 第67回国連女性の地位委員会

## CSW67

デジタル時代における技術革新と変化，教育

情報へのアクセス，利用

積極的に関与，影響

オンライン固有の悪影響（女性への暴力）

# サイド・イベントは 政府機関や国際機関とNGOsとが 一緒にニューヨークの国連で

JAWW（日本女性監視機構）、国連NGO国内女性委員会、国際婦人年連絡会という日本の3つのNGOsは、国連日本政府代表部と共催で、毎年3月に開催されてきたCSWの期間中に、CSWの主要テーマの理解を促し、実現をめざして、この10年余り、サイド・イベントを開催してきました。



# デジタル時代の 「エンパワーメント」 鍵は教育

「エンパワーメント」では、人が自立する権限を自ら行使するという意味では、決定と実行、妨害排除だけでなく、その成果を誰もが認める（横取りされない）ことも重要です。

# ところで・・・デジタル時代はいつから？

産業革命で出現した伝統的な産業から，情報技術を中心にする経済構造への転換が始まったのは，20世紀半ば

1947年 トランジスタの開発

1970年1月1日00:00:00（世界標準時） コンピュータの時間基準であるUnix Timeは，この時点から「秒」単位で計算（現在はもっと小さい「ナノ秒」単位を使っている）

日本は、全体として理系の学生が少ない・・・らしい  
大学進学率も高くはない・・・低学歴国？

(日本の統計は、中等教育の後を「高等教育」と分類するが、他の国は4年制以上の大学だけを「高等教育」というらしい)

大学院進学率は、OECD諸国などと比較すると、明らかに、低い

(日本の大学院の院生のかなりの割合は外国人留学生)

OECD諸国などと比較すると、女性の高等教育機関への進学率が、明らかに、低い

その中でも、デジタル時代に対応する人材を養成する科学Science・技術Technology・工学Engineering・数学Mathematics分野（STEM）でも女性の割合が非常に少ない

女子大学に工学部をつくれば

? STEM分野を専攻する女性は、  
それだけで多くなる??

# 日本における女性の教育環境

1872年には女性のための高等教育機関が開設された

別学であったが・・・

高等教育はpost-secondaryであって、tertiaryではなかった

1946年には完全別学廃止

女性も男性と同じ教育機関に進学が可能になったが・・・

高等教育進学率，専攻分野には顕著な差が存在し続けた

# 日本における女性の教育環境

1970年代後半から女性の4年制大学進学率は「10%」に

1980年にはその人たちが卒業する

「家事手伝い」でいいのか？

女性を「質の高い労働力」として把握する発言が財界から・・・

# 日本における女性の教育環境

1985年のCEDAW批准

「質の高い労働力」とは？

デジタル時代に即した数学・統計学を奨励する代わりに  
就職する女性を対象とするコース制を新設

女性は恒常的な男性労働に対する補完的存在？

性別役割分担意識を反映する行動規範を（それでも）維持

専攻分野別に、大学学部の女性比率を見ると、

図 1 大学学部における専攻分野別女性比率 (%)

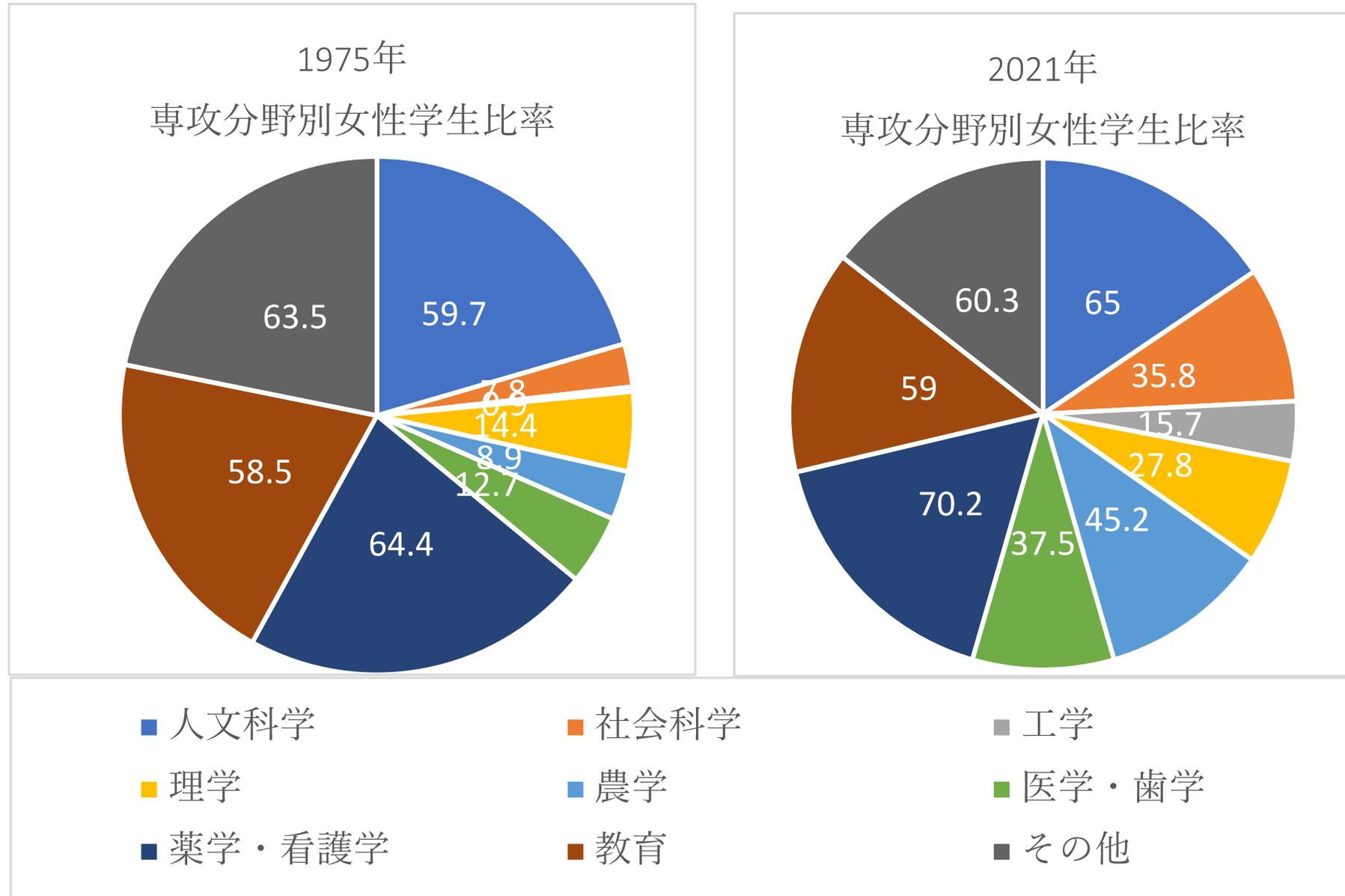
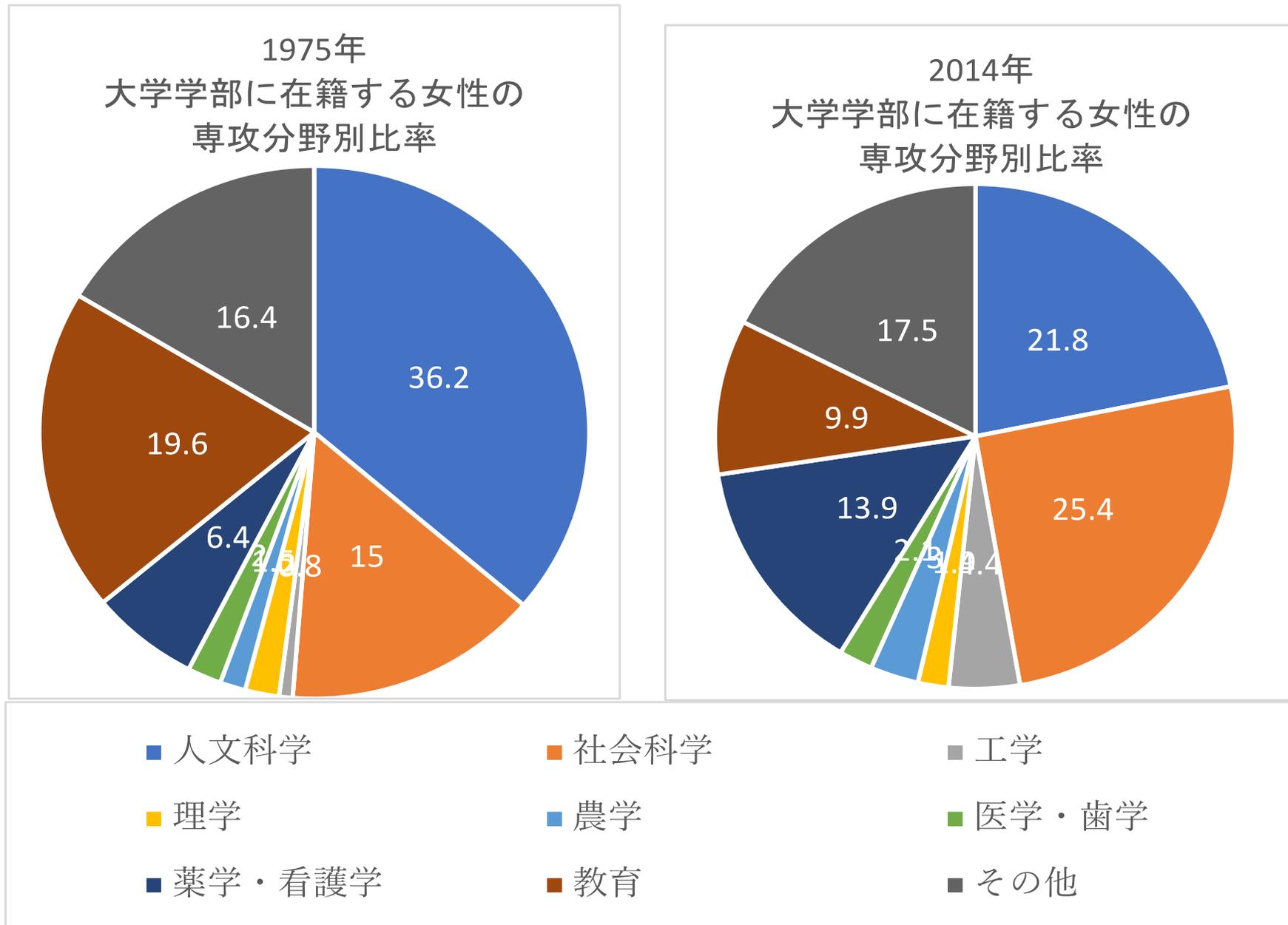


図 2 大学生となった女性たちの専攻分野別比率 (%)



# 日本における女性の教育環境

(女性だけではないが) STEM教育が不十分  
デジタル時代に対応する人材が全体として不足

2020年代, 日本政府は, 国立・私立の女子大学に工学部を設立し, 既存の理系学部に対して「女性枠」設定を促すなど・・・女性教員と学生の割合を増加させるという政策を採用

社会における「STEMは女性に向かない」という偏見の是正に努めている？





女子大学の工学部は  
女性の「可能性」, 「選択肢」を見えやすくする？

生徒たちに対する親の世代の影響力は大きい

「社会風土」に内在する思い込みや不安を  
払拭できるとの「期待」

でも・・・女性向けの工学部？という議論も？



# デジタル時代

NGOは、その一歩先を行く

WAFFLEは

中学生・高校生・大学生に働きかけ

IT業界のジェンダー・ギャップ解消を  
目指し



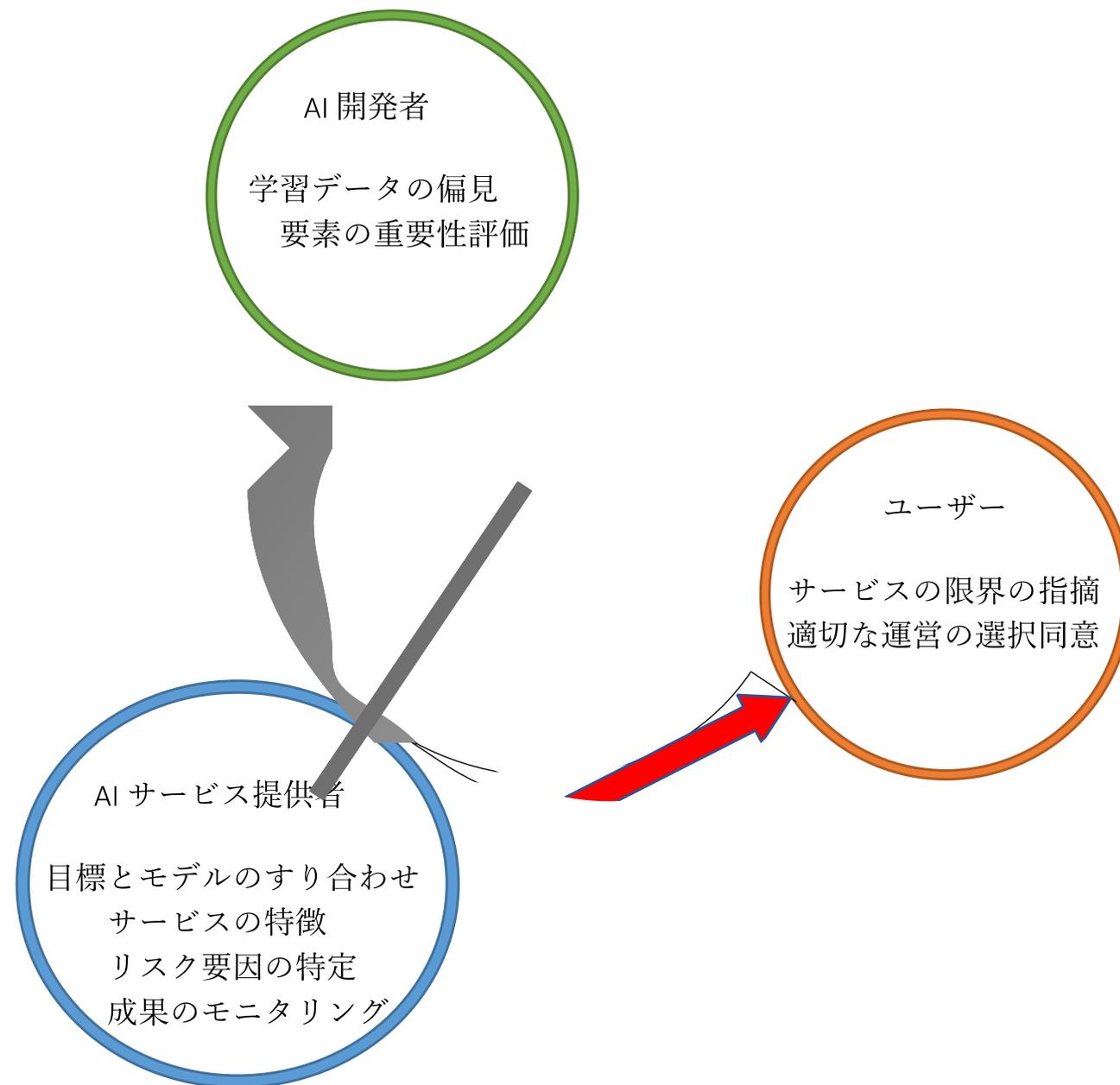
**Public Policy**

Gender equality requires structural change

政府に  
社会構造の変革政策を提案

# 信頼できるAIを 実現するには

実現すべき目標を共有する  
開発者とサービス提供者と  
ユーザーが協力してリスク要  
因を減らす





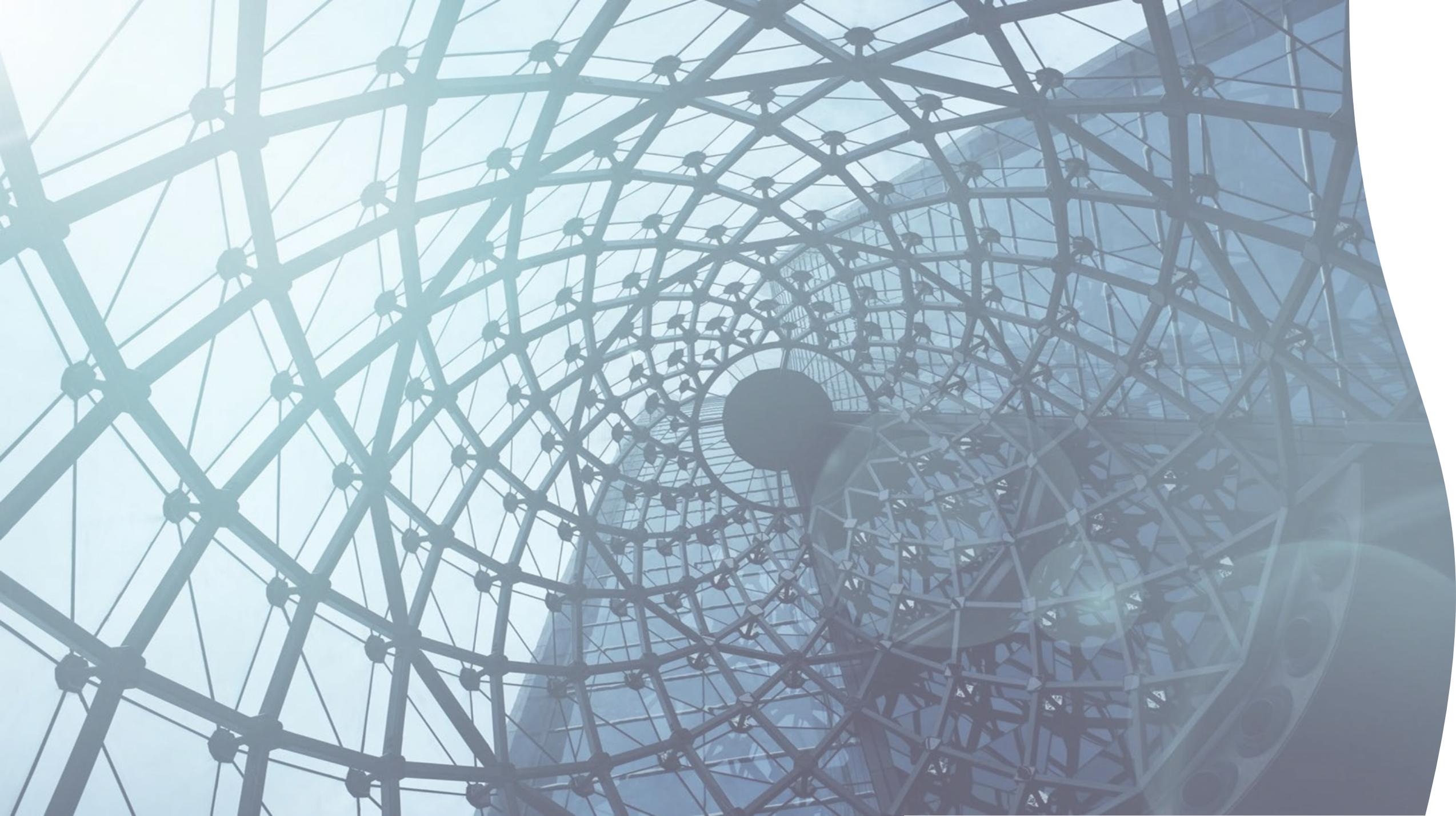
デジタル変容は、

中学生・高校生・大学生に働きかけ  
スキルの上達だけではなく、自分の能力を開発

デジタルでチェックして既存の偏見を克服

教育の価値を再認識

デジタル変容と技術革新、デジタル時代の教育は、  
社会の大転換をもたらす



# デジタル時代における社会の大転換は

- 普遍性に組み込まれた男性性
- ジェンダー・ステレオタイプの発想
- 経済的精神的依存
- 権威主義

にジェンダーの視点から疑問を提起し

- 経済的自立
- 無償労働の共同分担
- 人権
- 民主主義

の実現をめざす

どこでも，いつでも，本当に必要なのは  
．．．

社会が平等についての基本的な考え方を  
みんなが広く共有

ジェンダーやセクシュアリティだけでなく  
国籍や民族・人種，考え方や暮らし方  
さまざまな「他の人と違うこと」があっても  
それでも，人として「平等」

# Transforming Innovation and Technology to Empower Women and Girls:

Is Establishing New Faculties of Engineering at Women's Universities the Panacea for Gender Equality?

ご清聴, ありがとうございます！

